

誌面版 2026-10 ②

io競馬

秋空の陽光を浴びる いかした娘は誰？

京都11 秋華賞 GI

馬齢（牝）3歳オープン

芝2000A

15:40

8			7		6		5		4		3		2		1		枠番
17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	馬番
ローザンジュ 牝3 黒鹿毛 フィエールマン ハーズシャドウ（オルフェーヴル）	ハヤブササキチャン 牝3 鹿毛 リアルスティール ヴァフラーム（ハービンジャー）	フェスティバルヒル 牝3 栗毛 サートゥルナーリア ミュージアムヒル（ハーツクライ）	サムシングスイート 牝3 栗毛 サートゥルナーリア サムシングジャスト（ヴィクトワールピサ）	ドリームコア 牝3 鹿毛 キズナ ノームコア（ハービンジャー）	カナルサンマルタン 牝3 鹿毛 リアルスティール アメリ（Distorted Humor）	ガーネットフレア 牝3 鹿毛 ニューイヤーズデイ スペクトロライト（ディープインパクト）	ナイスプレーアスク 牝3 鹿毛 アドマイヤマーズ エンジェルドンキ（ディープインパクト）	スウィートハピネス 牝3 栗毛 リアルインパクト フラル（ワークフォース）	モンローウォーク 牝3 青鹿毛 キズナ アンフィトリテII（Sebring）	バースデイフライト 牝3 黒鹿毛 コントレイル サマーソワレ（War Front）	ラベルセーヌ 牝3 黒鹿毛 キズナ ラフォルス（Power）	タイセイボーグ 牝3 鹿毛 インディチャンプ ヴィヤダーナ（Azamour）	エンネ 牝3 黒鹿毛 キズナ ルバンII（Medaglia d'Oro）	マスターソアラ 牝3 栗毛 シスキン マスターワーク（ダイワメジャー）	テイエムアイラン 牝3 栗毛 ミッキーアイル クインオブザシーズ（フヴェリスト）	ギャラボーグ 牝3 鹿毛 ロードカナロア レキシールー（Sligo Bay）	出走馬名 性齢 毛色 出走馬の母名（出走馬の母父名） 出走馬の父名
55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	斤量
今村	吉田隼	浜中	松山	ルメール	岩田望	北村友	岩田康	佐々木	戸崎	田山	荻野極	西村淳	坂井	武	富田	横山和	騎手
1-1-1-3	3-1-2-0	初	初	1-1-1-1	初	3-0-0-0	0-0-0-2	0-0-0-1	2-0-0-0	0-0-1-1	3-0-0-1	1-0-1-1	1-1-0-1	初	1-0-1-0	初	騎手実績
栗 寺島	栗 東田	栗 四位	美 伊藤大	美 田中博	美 宮田	栗 杉山佳	美 中舘	栗 北出	栗 上村	栗 新谷	美 鹿戸	栗 松下	栗 吉岡	美 蛯名正	栗 宮地	栗 杉山晴	厩舎
																	勝負服
ヒダカ BU	武田修	吉田勝己	グリーン F	吉田勝己	サンデー R	キャロット F	廣崎利洋HD	前田幸大	エムズ R	飯田良枝	サンデー R	田中成奉	谷川牧場	インゼル R	竹園正繼	ロード HC	馬主
上水牧場	ノーザン F	ノーザン F	那須野	ノーザン F	ノーザン F	ノーザン F	三嶋牧場	平山牧場	ノーザン F	千代田牧場	社台C白老	ノーザン F	谷川牧場	社台C白老	米田牧場	ケイアイ F	生産
	☆		○					♡	△					▲		◎	ふろりぜる。
			▲					☆	△					○	◎		ふらの
	△		▲			○			◎								編集部

馬柱・記者予想印　◎ 本命 / ○ 対抗 / ▲ 単穴 / △ 連下 / ☆ 大穴 / ♡ 心の本命

記者の見解



ふろりぜる。
馬券師ソレヨヌス

人馬一体　キズナの勝利なるか？それとも…

みなさんこんにちは。こうやって見解を投稿するのも2024年の有馬記念ぶりですね。どんなふうに書いていたか忘れました！というわけで早速予想に移りたいと思います！

まずレース展開。秋華賞はペースが流れることが多く、好位からの差し決着になることが多いレースです。勝った馬も人気上位、荒れるとしても紐荒れが多いイメージを持たれている方も多いと思われますが2008年にはブラックエンブレム（11番人気）-ムードインディゴ（8番人気）-プロヴィナージュ（16番人気）で三連単が10,982,020円を記録するようなレースもありました。ここまで来たらもう何が起こるかわかりませんね。そして今回は桜花賞馬、オークス馬の不在、そして比較的前に行きたいような馬が多く、やはりペースが流れ、好位差し決着になるのではないだろうかと考えられます。

次にローテ。勝馬はオークスからの直行組、紫苑ステークス掲示板組が多く、それに古馬戦を経験した馬やローズステークス組（結果問わず）が絡む形になっており、その多くが桜花賞もしくはオークスの出走歴があります。特にローズステークスで結果が奮わなかった馬も好走しているのが難しいところ。ここを使って上手く仕上がった馬を探すのは一つのポイントかと思われます。

さて、それでは印のほうに入りたいと思いますがまず本命に推したいのは◎ギャラボーグ。桜花賞以来、フレグモーネ明けの出走となりますが追い切りで特に不安なところは見せておらず、父はロードカナロアなので休養明けでも大丈夫だと思います。距離も伸ばした方が輝くような実績。1枠の成績は正直言って悪い、考える中でも最悪と言っていいほどですが…ここで光るのが鞍上の山和生騎手。捲りが得意と言われるまである彼女を外の方へ導いてくれるでしょう。きっと、たぶん…

次に対抗は○サムシングスイート。紫苑ステークスで上がり最速で2着に入っており、脚質も差し、そして枠も立ち回りやすい外側となっていますし過去の戦績からみても2000mはちょうどいい距離と考えられます。鞍上も今ノリに乗っている（横山典弘ではない）松山弘平騎手なのは心強いですね。

▲マスターソアラは紫苑ステークスを制覇しておりそれなりに人気もしているかと思われますが、内すぎる枠とまだ4戦目という部分が未知数。それでも負けたクイーンCでは不利を受けながらも4着だったりと高い素質を見せているのは確か。鞍上は京都が庭の武豊騎手に乗り替わりとなるため十分警戒が必要ともいえるでしょう。

そして以外かと思われるが△モンローウォーク。確かに無敗でありローズステークスも完勝、まだまだ底を見せていないと話題の馬ではありますが…ここで引っかかるのがキズナ産駒の戦績。京都競馬場とキズナ産駒は割と相性がいい方ではありますが、秋華賞に限っては馬券内はパラディレーヌの3着のみ（ファインルージュの2着は阪神開催）。脚質も前目であることを考えると道中上手く運んで終いに差されてしまうのではないかと考えられます。ローズステークス組はなかなか勝ち切れていないのも気になりますね。とはいってもそういうのをぶち壊すのが名馬です。データなんかねえよ。

注意したいのは☆ハヤブササキチャン。やはり京都内周りコースはハービンジャーが活きますからね。父は伝説の名馬、リアルスティール。当日のテンションには気を付けたいですね。

注目しているのは♡スウィートハピネス。なんといっても三代母が秋華賞馬ファレノプシスであり（それはほぼキズナじゃないか？）、京都は3戦2勝2着1回、オークスは勝馬と0.1秒差の5着。まぁ馬券に入れるのは判断しづらい成績と言われればそれまでですが、そういった馬も絡むのが秋華賞です。正直ゴリ押しです。あと脱法キズナです。脱法キズナってなんだ…？？？？？

というわけで私の予想は◎ギャラボーグ ○サムシングスイート ▲マスターソアラ △モンローウォーク ☆ハヤブササキチャン ♡スウィートハピネスとさせていただきます。

編集部より

お久しぶりです。ミネストローネです！
まず、感謝を。予想やコラムを投稿してくださった記者のみなさん、そして競馬部の皆様のおかげで、無事にio競馬を作り上げることができました！本当にありがとうございます！

そして予想を。穴党ながら、本命はモンローウォークです！流石に逆らえない。さっすがに無理！

細長スペース
だからギリ許される偏見のコーナー

還元率高めの時に限って配当安くなりがち
お願いルメール、今日はバカンスってことで

最近のGI、人気馬の枠順にそこはかとない「意図」がにじみがち
おや、記録のかかる人気馬が絶交枠だ（アルミホイルを巻きながら）

締め切り直前にオッズ急落に気づいて追加購入した馬結局杞憂がち
あっぶね！これ毒かも！

複勝しか買ってない馬が最後に差されて2着になった時なぜかほっとしがち
払い戻しは変わらないでも何かが違うんだ

岩田康成Jのインタビュー口下手を期待した時ほどなんかちょっとうまいがち
逆に最近ちょっとうまくなってきたしなぁと思った矢先に「ジーニアス」などが飛び出すのが魅力

千メートル通過タイム57秒とかだと逆に荒れないがち
速すぎる！これは荒れるぞ～！とか思ってたら、直線みんなヘトヘトなやつ

千直の菊沢はガチ
アイビスサマーダッシュがGIなら菊沢はとっくにGIジョッキーである

HP、
あります。

io競馬

秋華賞号
2026年10月02週発行 vol.1



新着記事

記者の印 - 秋華賞
記者の印

io競馬穴掘り部隊
io競馬穴掘り部隊

俺たちのGI～新潟牧馬S編～
俺たちのGI

人馬一体　キズナの勝利なるか？それとも…
記者の見解

俺たちのGI

～新潟牧馬S編～

たっぷりプリン

Mirai Iwata wa saikou no jokkii dayo

①牧馬限定戦である②2000m くらいある③勝ち馬は大体エリ女に向かう以上より新潟牧馬 S は秋華賞であり G1 である。M.T.G.（証明完了）というわけでお久しぶりです。多分 3 回目くらいのこのコーナーやっていきたいと思います。申し訳程度に開催される秋新潟の名物オープンですね。10 頭立てですがなかなか骨のあるメンツが揃っていると思います。地味に毎年楽しみなんですよね。

予想のポイントですが、2200m という牧馬路線では長めの距離設定をどう攻略するかにあると思っています。というのも芝 2200m 以上の牧馬限定 OP 以上のレースって新潟牧馬 S の他にはオークスとエリザベス女王杯しかないんですよね。もう G1 だろこれ…。血統的な体力の裏付けは欲しいですね。

一方で土曜日の芝レースはかなり時計が出ていて単なる体力での押し切りにもならなさそう。前で折り合いつつ血統的にも行けそうな馬が狙い目になると思います。

3 シャドウメテオを本命にします。前走日本海 S ではしっかり折り合って快勝。ここ最近は速い上がりで上位に食い込んでいますから、末脚勝負なら期待十分です。オルフェーヴル産駒なのも◎。対抗は◎パフュームセント。格上挑戦ですが過去走も十分通用する内容です。陣営もこの条件は狙っていたところではないでしょうか。

10 頭立てなのでこれくらいにしておきたいですが、枠と脚質、何より長距離ゴルシで 1 ウインディージーにも注目です。馬券は 3,6-1,3,6 の馬単で。

io競馬穴掘り部隊

宵どれ

テスコボーイ系は天下無敵ですよ？

☆ガーネットフレア 6 枠 11 番／北村友一 騎手／栗東・杉山佳明厩舎

io 競馬の復活おめでとうございます。以前にもひっそりコラムを投稿していた者ですが、改めて自己紹介から入りたいと思います。

生まれは尾道、居住地は横浜、信仰はテスコボーイの宵どれと申します。今後ともよろしくお願いいたします。

さて、三歳牧馬路線の最終章である秋華賞だが、傾向としては「本命が分厚く、オークス連対馬のような実績馬が無難に強い」「相手にはローズの心」というわかりやすい状況ではあるものの、本年は桜花賞・オークス勝ち馬が不在で、ローズの特に今年はオークス 2 着馬ドリームコアが紫苑の5着馬スイートハピネスはローズの 1.1 秒差 7 着、同じくオークス 7 着馬エンネは 2 着に入ったものの 0.3 秒差 3 着、オーククから 0.5 差と芳しくない状況であり、桜花賞組もギャラボーグが半年超の休養明けからぶっけ、フェスティバルヒルは休養明けのクイーンで 3.2 秒差のシンガリ負けとこちらも芳しくない。

そうなれば新興勢力にも目を向けたい所だが、ここで気になるのが馬番 11 番のガーネットフレアである。

当馬は 6/28 の函館での 1 章クラスまではダートを走っていたが次走から芝に転向すると牝限ながら古馬混合の 1 勝クラス→夕月特別（2 勝クラス）できちんと先行して勝利しており、上 3F も 2 位→3 位としっかり結果を出している。

特に評価したい点は札幌・阪神内という小回り構造のコースをきちんと先行して勝っているという所であり、特に夕月特別からは近 15 年に限っても 13 年 2 着スマートレイアー・20 年 3 着ソフトフルートが人気薄から好走しているのは心強い。

その上でこの馬に特段の強みを見出すとすればダート経験を経た事による足腰の強さであり、京都内でも高低差 3m 少々とは言えそびえ立っている「淀の坂」への対応に不安はなく、これまでに見せた先行策が実ればポジション確保→坂の下りで加速→終盤の粘り込みという京都内回り特有のやや短めの直線の利を生かせるのは間違いない。

一方で難点を挙げるとすれば今年 7 戦目とかなり出走数が嵩んでいる事による疲労であり、この点については最終追いでも「在厩で徐々に立ち上げながら慎重に」（スポニチ）と杉山佳師が語っているように、本年の夏が然程厳しくなかったとは言えどの程度のお釣りが残っているかという所を突かれると非常に悩ましい所ではある。

他の注目馬を挙げるとすれば、昨年の秋華賞が 1600～1800m をスイートスポットとする馬が馬券内を独占した事を鑑みて、古馬混合の納屋橋特別（2 勝クラス）を鮮やかに勝利した逃げ馬テイエムアイラン、馬場への順応性という点では（一応京都でも勝利しているが）疑問は残るものの、札幌で古馬混合の 1 勝クラス→ETB 賞（2 勝クラス）を連勝したハヤブササキチャンも警戒したい所ではある。

今週の水沼

土曜 4 鞍（0-0-0-4）
日曜 2 鞍（1R・4R）

土曜は 4 鞍に騎乗。

単勝人気は 12-17-18-9 と低調ながらも、東京で 4 つの乗鞍を確保できていることは素直に評価したい。

日曜は 2 鞍。

1R はトパーズヘッド。ここまで 3 戦で着差が 2.0→3.5→3.9 と厳しい内容ではあるが、こういう馬を突然爆走させるのが水沼という男である。

4R はデルマミョウコウ。想定は殿人気と低調だが、水沼 × ディーマジェスティ産駒の単勝回収率は驚異の 2687% である。ここでもその好相性ぶりを発揮し、今年の 2 勝目をどデカい大穴で飾りたいところ。

メモ欄

（という名のスペース埋め）